

RZ Ecosystem Partner Solution

侵入車両検出ソリューション

三井E&Sシステム技研株式会社



概要

- 工場・港湾・私有地など制限エリアへの車両侵入をAIにより自動監視
- 組込みAIプロセッサによる低消費電力化によりコンパクトな筐体と長時間の無人監視が可能

主な機能

- ルネサスエレクトロニクスの高速度・高精度AIエンジン DRP-AIにより、リアルタイムでの不審車両検出が可能
- 1TOPS/Wクラスの低消費電力が特徴のRZV2Mを採用、従来のGPU内蔵PCによるAI推論に比べて大幅な筐体サイズの小型化が可能
- RZV2Mの低消費電力によりカメラへのPoEによる給電が可能、GPU搭載カメラに比べ、カメラへの電源線の引き回しが不要で現場への設置が容易
- 車両タイプ判別に加え、ナンバープレート認識の追加拡張も可能

ブロック図/ダイアグラム



データ収集装置 MP1000シリーズ

無線通信インターフェース
(オプション)
無線LAN /
LTE/
Bluetooth



車両ゲート



RZ/V2M搭載
PoEカメラモジュール



ターゲット市場及び用途

- 社会インフラ
- ファクトリーオートメーション

<https://www.msr.co.jp/solution/index.html>



三井E&Sシステム技研株式会社

社名	三井E&Sシステム技研株式会社
創立	1986年（昭和61年）4月1日
資本金	7億2,000万円
代表者	代表取締役社長 森重 利文
本社所在地	千葉県千葉市美浜区中瀬1-3 D9
株主	株式会社三井E&Sホールディングス(100%)
売上高	238億円（2020年3月期）
従業員数	643名（2020年6月現在）



経済産業省SI（システムインテグレータ）企業認定



プライバシーマーク登録番号
第11820110(09)号

情報セキュリティマネジメントシステム
(ISMS) 2013年10月1日 取得



※記載されているその他の製品名、社名、マーク、ロゴ、およびシンボルは、それぞれの商標権者の商標または登録商標です。